

平成25年山武市教育委員会第4回定例会会議録

1. 期 日 平成25年4月18日(木)
2. 場 所 山武市教育委員会庁舎会議室
3. 開 会 午後1時28分
4. 出席委員 委員長 五木田 孝義
委員長職務代理者 高橋 尚子
委 員 京相 光徳
委 員 小野崎 一男
委 員 嘉瀬 尚男
教育長 金田 重興

5. 議場に出席した職員の職及び氏名

教育部長	渡邊 聰
教育総務課長	小川 宏治
学校教育課長	鵜澤 政仁
学校教育課指導室長	齊田 謙一
生涯学習課長	土井 紀子
スポーツ振興課長	川島 勝喜
公民館長	市原 修
文化会館長	江澤 正
図書館長	宮負 勲
学校給食センター所長	小堀 英信
さんぶの森公園管理事務所長	齊藤 榮一
事務局	
教育総務課総務企画係長	秋葉 一徳
教育総務課総務企画係	篠原 正洋

開会 委員長が挨拶し午後1時28分開会を宣する。

日程第1 ○会議録署名人の指名

五木田委員長が議長となり、小野崎委員を指名する。

日程第2 ○会議録の承認

第3回定例教育委員会の会議録を全員異議なく承認。

日程第3 ○教育長報告

報告書に基づき、3月23日から4月19日までの主な業務内容について報告。(主な点は次のとおり)

- 3月24日 市主催の歩け歩け大会を開催した。定員は100名だが、ほぼ定員の参加があった。この大会は旧町村の各コースで開催しているが、今回の蓮沼コースで一巡した。この大会は単なる歩け歩けではなく、方針として施設や史跡めぐりなどを加えていることが良いことだと思っている。
- 25日 九十九里漁業組合の役員の方々が来庁し、魚のつかみ取りを小学校の子どもたちに、ぜひ体験させたいということで、山武市の子どもたちにも来場いただきたい旨の依頼があった。経済環境部を通じてPRをしている。
- 28日 学校のあり方検討委員会を開催した。今後に行うアンケートの内容やコミュニティスクール、小中一貫教育の説明を行った。我々教育委員会も同時進行というようなことで、勉強して考えていきたいと思うのでよろしく願います。
- 29日 東上総教育事務所において退職そして新採の辞令式が行われた。今年度の新採128名の内、山武市は19名。退職者は132名の内、山武市は13名でほぼ30名位ずつ例年より多くなっており、世代交代が進んでいる。
- 31日 食虫植物群落守る会の総会が開催された。絶滅危惧種がいくつかある訳だが、この保存が今後の課題になるとしている。
- 4月1日 年度始め式・辞令交付が行われた。
- 2日 城西国際大学入学式に出席した。
- 3日 市教職員合同着任式が行われた。
- 4日 職務の合間を見て、幼稚園、小中学校、そしてこども園の各現場まわりを行っている。8割ほど終えたが、良いスタートが切れているという風を感じている。
- 5日 セーフティハンド贈呈式が行われた。
- 6日 市こども会の総会が開催された。子どもたちの数が減って、また、各地域のこども会自体も減っている訳だが、総会には熱心な会員の方々がたくさん参加してくれた。大変うれしく思っている。少子化ということで大事な子どもたちのために、教育委員会としても支援していきたいと思っている。
- 9日 県の教育長会議が開催された。昨年就任した瀧本教育長の冒頭の挨拶で“全ては子どもたちのために、ぜひ現場主義で行っていただきたい。県教委は上位ということではなく、市町村教委と対等の関係でやって参りたい”というような話があった。
- 10日 山武北小学校の入学式に出席した。各委員もいろんな学校に行かれたと思うが、今回は今までの地元ということではなく、他の学校を見てもらっている訳だが、

大変参考になった。また課題も出てきたことも深く認識している。

11日 なるとうこども園の入園式に出席した。213名という大人数であった。それはそれとして、職員室が非常に狭くて暗くて、学校もそうだが職員室の雰囲気は大きな影響がある。それなのにあんなに狭くて暗くていいのか、今後どのような影響がでるのか少し心配になったところである。

12日 園長会議が行われた。所管替えがあった訳だが、教育委員会として出席させていただいた。私からは厳しく苗半作、幼児教育の重要性をあえて訴えさせていただいた。

13日 青少年相談員の辞令交付式が行われた。なかなか十分な活動というのが各団体出来ていない。青少年相談員、青少年育成市民会議、こども会などもそういう状況で、他の機関との連携が大事であるのでこれをお願いした。

14日 市芸文協の総会が開催された。非公式の形ではあるが、引き続いて芸文協加入団体の公民館利用料金の減免要求が出されている。宿題になっているので、近いうちに結論を出さなければと思っている。ご意見をいただきたいと思う。課題として、市の方向としては行革がある。受益者負担でお願いしたい。他の施設、他の利用団体との整合性についても考えていかなければならないなど、なかなか難しい問題だと思っている。

16日 校長会議が行われた。市内で6人の校長が変わったが、全ての校長が大変意欲を示している。期待したいと思う。

17日 グラウンドゴルフ定期総会。高齢で車の運転できない方が増えたため、市バスを利用したい。学校での使用が多いのもっと増車ができないのか。もっと利用できないか要望が出された。市長としては、増車はできないと明言した。できるものであれば教委でも日程調整をして協力をしなければならぬと思う。議長と文教厚生常任委員の議員とともに学校訪問を行った。中学校4校、山武・成東・松尾・蓮沼中学校をまわった。授業を見て校長から学校経営について伺った。私からはいろいろな地域、子どもたちを取り巻く環境は様々あるが、そういった環境を理解したうえで支援をいただきたいとお願した。

委員長：議案第1号「平成25年度山武市奨学資金の貸付けの決定について」、議案第2号「山武市社会教育委員の委嘱について」及び協議第1号「準要保護の認定について」は公開に適さない事項であることから、教育委員会会議規則第12条の規定により秘密会としたい旨、提案。

（「異議なし」の声）

日程第4 ○議決事項

議案第1号 平成25年度山武市奨学資金の貸付けの決定について

※新規申込者2名・継続者2名について審議

教育総務課長：資料に基づき、新規貸付申請者及び継続者の説明。

審査概要

・保護者の収入金額について確認。基準内であると説明。

※結果 新規2名・継続2名 貸付決定

議案第2号 山武市社会教育委員の委嘱について

生涯学習課長：昨年4月、任期2年で12名を委嘱した。小中校長会推薦の委員について現在の委員が校長会長になったことに伴い、社会教育委員を辞職したい旨の申し出があった。併せて校長会から後任の推薦があったため委嘱する。任期は前任者の残任期間のため平成25年4月1日から平成26年3月31日まで。

※原案のとおり可決。

日程第5 ○協議事項

協議第1号 準要保護の認定について

学校教育課長：新規4世帯9名及び継続15世帯23名について説明。

※新規3世帯8名及び継続7世帯12名について認定。

(新規のうち非該当1世帯1名、継続のうち未提出7世帯16名、書類不足1世帯2名)

協議第2号 教育委員の園・学校訪問について

学校教育課長：資料に基づき、年間の訪問場所について説明。日向幼稚園については、今年から3歳児保育が始まった。なるとうこども園については、来年2月に公開研究会を予定している。2園については特にご覧いただきたい。教育事務所の訪問も予定している。なるとうこども園、教育事務所の訪問もある。委員の皆様にもご一緒していただきたい。

※原案のとおり了承。

日程第6 ○報告事項

報告第1号 第4回山武市学校のあり方検討委員会の会議結果について

教育総務長：資料に基づき説明。出席者14名、事務局7名で開催した。①市民等意向調

査アンケート内容について②コミュニティスクール・小中一貫教育の概要について③市内小中学校の自転車通学等の状況について④意見交換となっている。①については、これから一般市民、保護者、教職員を含めてアンケートを実施するにあたって意見をいただいた。属性について、委員から無効投票になるつくりになっているのではないかと指摘があった。施設が安全であるといった設問で、子ども一人ひとりに目が行き届く等の項目を入れてあったが、当然のこととしてこういった設問は不適切なのではないかという意見があった。次回までに修正すると回答している。4月26日の会議でアンケート内容の了解を得て、検討していただき5月上旬には発送。回収は5月下旬。集計は6月一杯をかけて行う。一般市民へのアンケートは無作為抽出であり、小学校から中学校の子どもがいない世帯から20歳以上の市民を無作為抽出した。子どものいない世帯から1,000人を選んだ。コミュニティスクールについて、実施しているところはあるかとの委員からの質問に三鷹市等の取り組みを紹介し、千葉県では5校だけという少ない状況であることを伝えた。コミュニティスクールで地域の人が学校に入ってくることはいいと思うが、統廃合とは関係ないのではないかとの意見があり、順番からすると小中一貫を取り入れるかどうかの検討後に、コミュニティスクールを取り入れるかの検討に入っていくことになるかと回答した。学校の設置、先生の任命、教育委員会との関係について、次回の会議で地方教育行政の組織及び運営についての法律等の抜粋を示し、説明する。小中学校の先生の数が違うのではないかとの問いについては、県の配置定数があり、小学校では12学級以下の場合、増置教員が1名配置される。12学級あれば13人目の教員が配置されると回答した。中学校は6学級、1学年あたり2学級であれば、6、7人、3学級であれば4人となっている。その他、山武市では小中一貫校はまだ早いのではないか、小中一貫校のイメージが委員のイメージと合わないといった意見もあった。必要なのは教員と保護者が集まって意見を出すといったことなのではないかという意見もあった。自転車通学の状況については、小学生では全体の1.8パーセント、46人が自転車通学であり、中学生では96.6パーセント1,541人が自転車を通学に使用している。学校が地域からなくなってしまうという中で、もう一度地域に戻ってくる施策が必要ではないかとの意見が出た。幼稚園の未就学児の保護者にもアンケートを行った方がいいのではないかと、通っている子どもたちにもアンケートをした方がいい。学童・山武市の財政状況の説明を次回に依頼された。アンケートについては、小学校5,6年生、未就学の保護者もアンケート対象に加えた方がいいとの意見があった。

教育部長：最終的に答申案が出て教育委員の皆様へ示すことになるが、コミュニティスクール等について、教育委員の皆様から答申を出す中間の時点でご意見をいた

できればその先に進めるのではないか。答申案を出した時に、教育委員会議で難しいという結論になった時にもう一度、戻って進めなければいけないので、中間で盛り込んでいきたいと思うがいかがか。

教育長：答申ができてから改めて考えるというのでは、スピード感がないと思うので、答申を受けながら同時に考えていって、その答申に対して委員会の考えを出せるようにしたい。必要であれば、委員会としても資料提供したい。時には、協議があってもいいのではと考える。

五木田委員長：検討委員会で小中一貫やコミュニティスクールについて、委員一人ひとりの描き方が違うとまずい。小中一貫が小学校、中学校にとって夢のような制度であると考えてはいけないので、メリット・デメリットがあることを確認しなければいけない。

嘉瀬委員：出来上がったアンケートの内容を知りたい。同様にコミュニティスクールや小中一貫について、資料を見せていただきたい。検討する資料はいただきたい。

※報告第2号から報告第4号を一括して説明。

報告第2号 平成25年度園児・児童・生徒数について

学校教育課長：資料の訂正を報告し、資料に基づき説明。

報告第3号 平成25年度幼・小・中学校の少人数指導講師・介助員・心の教室相談員の配置について

学校教育課長：資料に基づき説明。小学校の少人数指導講師については、5名の配置をしている。年々、1名の増員をすることになっている。来年度も増員していきたいが、現在少人数指導講師の時給が1,000円である。他の臨時職員は900円で差が100円であるが、近隣の市町村では県の支給金額と同じくし、低い賃金で良い人材を集めようとする試みが見られる。県がいくらかという月17万2千円。週3万円としても1月で12万円。山武市とは約5万円の差がある。今年、検討していく。介助員、心の教室相談員については、資格の要件がない。意欲的な方を採用し介助員34名、心の教室相談員16名。小学校、中学校では人数が減っている。39人以上いないといけない。市全体では1増であった。

報告第4号 いじめ問題メール窓口の開設について

学校教育課長：実際に運用を開始しているので、ホームページにアップした。場所は山武市のホームページの「さんむしキッズ」内に開設した。山武市教育委員会としては、主管課なので学校教育課で扱う。実際にクリックするといじめで悩んでいる人という、お子さん向けのメッセージが出てくる。これを見た市職員が、回

答の際に必須と全員記入という項目があるがどう違うのかという質問があった。必須とある場合、記入しないと次に進めない。全員記入は、書かなくても進める。実際書く側にとっては分からないであろう。全員記入とあることで断念して書かなくなってしまうのではないかと指摘があった。自分の出自をやってからであると気持ちが萎縮してしまうのではないかと。まず、気持ちを伺い自分の情報を聞く順番にしたらいのではないかと意見をいただいた。

※報告第2号から報告第4号について一括して質問。

嘉瀬委員：報告第2号でこども園の短児部しか載っていないので、長児部も載っているものをいただきたい。

学校教育課長：全園児数のものを用意する。

嘉瀬委員：報告第3号のメールの周知方法はどのように行うのか。

学校教育課長：前回示させていただいたが、全家庭に文書で配布をする。市発行の教育委員会広報で周知する。

嘉瀬委員：メールのページで、最初にホームページ上からよりも携帯やスマートフォンから入れるもののほうがいと提案した。今後、対応できるか。

学校教育課長：携帯画面用は考えていない。スマートフォン用には考えていない。

嘉瀬委員：スマートフォンからであると小さくて見れない。多くの方に知っていただきたいので、検討していただきたい。文書にある漢字の読みがなにルビがついているがもう少し読みやすくなるか、設問や小学校・中学校においてページ別に飛ばせればよいのではないかと。子どもたちが、使いやすいように改良していただきたい。

学校教育課長：この形で試験運用を始めた。職員等からも問題があると意見をいただいている。問題があれば、具体的に指摘いただきたい。

小野崎委員：さんむしキッズは入りやすいと思った。設問の工夫だけすればこのままスタートしていいと思う。

高橋委員：回答方法で、自分の名前は後で、いじめ内容を聞く設問を先にしたほうがいい。設問の順番を替えてみてはどうか。最後に氏名を聞くほうがいい。

小野崎委員：学校名だけで回答できるのではないかと。全員記入は検討していただけると伺った。

学校教育課長：改善に努めさせていただく。

休憩 15時00分から
15時10分まで

報告第5号 山武市小中学校ICT環境整備事業について

学校教育課長：資料に基づき説明。現在の進捗状況である。環境整備の柱として、①学校の機器整備、②学校情報システムとは、端末から出てくるデータをいかに処理するか先生方が校務処理でどのような方法が良いか検討する。③学校への支援教育委員会として学校へどのような人的支援ができるか。学校によって全面的な入れ替えと部分的な入れ替えがある。校務用(共用)では、正職員には全員1台ずつのパソコンが提供されているが、臨時雇用や講師の場合、整備されていない。そのため共用のパソコンを各学校に一台整備しようとするもの。校務用では、豊岡小の12台のうち古い6台を入れ替える。図書館システム用のパソコン等の機器の入れ替えの予定である。センターサーバー化を予定している。現在、各学校毎にデータが保管されている。これをより安全にするため一か所で管理する。セキュリティ向上のためである。一か所で管理することによって、使いまわしができるものについては共用し、効率化を図る。データサーバーの設置場所については、市役所内に置く、業者が持っているサーバーを使うという2つの選択肢がある。市役所の場合、管理に費用がかかる。業者のデータサーバーの利用については強固なセキュリティ環境にあり利用しやすい状況である。こちらの方法を予定している。いわゆるクラウドコンピューターというもの。市内全校で同じものを利用することで事務の効率化ができる。人事異動の先生方も多いので出席簿、行事予定等が統一されれば効率化できる。その分子どもにかかる時間を多くしたい。人的支援としては月に2回半日程度人をつけたい。こういったサポートかということ、授業中にこういった操作がいいか、教材作成も同様。ホームページ更新率向上の支援。全体研修会を持ち講師を呼んでサポートする。障害対応、故障へのサポートを行う。校務の処理を効率化し先生方の負担を軽減。子どもたちへの時間を作り出すことを目的に行う。仕様書の案を示したが7月頃に固める予定である。

嘉瀬委員：今回導入の学校情報システムの校務システムについて、仕様書ではエレコムマネージャーが記載されているが、既製のアプリケーションを使用するのか。それが全ての要望に対応できるのか。イレギュラーに対応できる幅をもったものなのか。現場の声が上がった時に対応可能なのか。

学校教育課長：エレコムマネージャーシーフォースというものだが、名古屋小牧市において学校とメーカーで作りに上げたもの。このシステムは、国のなかで一番使用されている。学校現場にいた当時の教頭、現在は校長であるが、文科省等から委託を受けた取り組みもしている。システムは、現場の声を取り入れたものでレスポンスよくカスタマイズできる。実践導入校がたくさんある。危惧されていること

として、各学校で通知表がバラバラである。対応できるかということに対応可能である。実例がありカスタマイズ可能でカスタマイズの費用も含めている。

嘉瀬委員：いろいろなことに対応が可能ということか。センターサーバー化した場合、データベースを引っ張ってくることになると思うが、例えば、学校単位で通知表の作り方が違うと思う。学校ごとに個別対応が可能か。

学校教育課長：このシステムは、データベースが統一されている。出力は各学校毎にカスタマイズされる。

嘉瀬委員：データベースの部分で例えば、出席名簿などは全てに共通のデータであると思う。一つのマスターデータがあればそこからいろいろなものに使えるが、成績は通知表の成績と指導要録の成績は異なる。名前が出席簿には日本名が載っているが、実際には外国名である場合等、個々のケースで対応が可能か。

学校教育課長：帳票をもとにどのデータを出力するか選択できる。

嘉瀬委員：そういったデータを複数持つことが可能か。

学校教育課長：可能である。子どもたちに見せるものと要録に書く名前は違っていても可能である。成績についても同様である。

嘉瀬委員：個別の出力で変更可能か。

学校教育課長：可能である。科目ごとに配点の率を変更することができる。

嘉瀬委員：校長との話題でそういった話題があった。いいシステムが入っても使わなくなってしまっただけではいけない。そういった対応ができるようお願いしたい。仕様書で今後のことになるが、全て法人向けになっている。生徒用パソコンは、一般向けのハードで対応できるのではないかと思う。同じ仕様でも価格が違ってくる。今回約420台という大量導入なので選定にあたっては、仕様選定で法人でなく一般で対応ができるものは一般で考えていただければどうか。

学校教育課長：パソコンには価格がないという説明をさせていただいたが、法人用はこれがないと仕様が出せない。価格設定が組めない。市役所ではこれをもとにしている。実際には、入札を行い金額がダンピングされている。根拠はもう一度調べるが、実際に入札する金額は法人用も一般用も変わらないと言っていた。NPO法人でコンサル的なことをやっている団体が、ヒアリングに来た。業者の設定価格が妥当か診断してくれないのか伺った。公的な査定ができると聞いている。ここで仕様を見ていただき無駄な出費がないようにしたい。

嘉瀬委員：特定メーカーにこだわりはないのか。

学校教育課長：全くこだわっていない。

嘉瀬委員：ICTの支援員の立場はどういった方か。

学校教育課長：専門の委託業者や自社で抱えている支援員もいる。支援として授業にまで携われる方は少ない。授業とのリンクは弱いと感じる。エディコムやNTTは支

援員がこの分野にいる。優れた人材はいる。来週、佐倉市で支援員を導入しているので視察をしてくる。

嘉瀬委員：支援については、導入時だけでなく継続していかなければいけないので、コスト面もあると思うがどうか。

学校教育課長：今後5年間の契約を予定している。

報告第6号 学校メール配信システムについて

指導室長：資料に基づき説明。旧来は、緊急連絡は電話連絡であったが最近はメールを利用することが多くなっている。山武市では昨年まで、学校ごとに経費負担していたが、今年度から市で負担する。学校独自のものから市で統一した。統合のメリットとして共通情報の配信、学校独自情報の配信。予約配信、アンケートの実施もできる。未回答者への再配信もできる。安否確認等もできる。市配信の防犯メールはオプションで利用できる。

高橋委員：臨時休業配信で大雨や台風の場合、学校で配信時間が決まっているのか。

指導室長：気象の状況が見越せる時間帯があるので、朝方であれば5時、6時の場合もあり、より確実にくるとなれば、前日に行く場合がある。

高橋委員：学校負担は減るのか。

学校教育課長：山武市では学校毎に判断することになっている。その通知の負担は、学校にのこる。費用負担が市で行われる。市教委で流せば一斉にできるが、市内広範囲で状況が異なるので学校長の判断で行っている。

高橋委員：例えば南郷小だけとか、クラス指定して流すことは可能か。

学校教育課長：特定者に配信することは可能である。PTA役員だけ等。

五木田委員長：携帯電話の保有率は、ほぼ全部ということか。

学校教育課長：最終的には学校で把握しているので、携帯を持っていない人には学校で個別に連絡する。

報告第7号 平成25年度東上総教育事務所の訪問について

学校教育課長：資料に基づき説明。定例時に教育委員の皆様で都合の良い時があれば連絡をいただき教育事務所の訪問に同行していただきたい。

報告第8号 平成25年度山武市校長会の役員について

学校教育課長：校長会で決まった役員について報告。会長が有井校長。副会長が唐笠校長、鈴木校長。庶務が眞鍋校長。会計が池田校長。この5名が中心になって平成25年度を進めていく。

五木田委員長：郡の校長会長は子安校長と伺っているが、副会長はどなたか。

学校教育課指導室長：藤代先生(九十九里町教育委員会から)と、土井先生(東金西中学校)である。

報告第9号 平成25年度山武市少年海外派遣事業について

生涯学習課長：資料に基づき説明。派遣先はニュージーランド。期間は8月17日(土)から24日(土)の6泊8日。中学2,3年生及び高校生を対象。引率者2名。募集期間は5月7日(火)から30日(木)まで。募集期間中の5月17日(金)午後7時保護者同伴で事前説明会を予定している。申し込みに際しては、申込書と作文。作文のテーマは「海外派遣研修で学びたいこと」400字詰原稿用紙2枚程度。費用負担は10万円。ただし、燃料サーチャージ料として、4月1日現在の内訳で上限1万円で別途徴収する可能性がある。承認後、各学校に実施要項の配布。5月1日の広報、ホームページに載せる予定である。

高橋委員：事前説明会が応募期間中に行うというのはどういうことか。

生涯学習課長：チラシなどを見てどういうものか詳しく知りたい方を対象に行う。

高橋委員：誰でも出ていい説明会ということか。

生涯学習課長：迷っている方などを対象にしている。

報告第10号 社会教育委員アンケート調査のとりまとめ結果について

生涯学習課長：当日配布資料に基づき説明。社会教育委員へアンケートを実施した。様々な意見が出たので一読願いたい。

五木田委員長：質問は次回の定例教育委員会でお願います。

報告第11号 行事の共催・後援の承認について

教育総務課長：平成25年3月1日から3月31日までに承認した1件の共催、4件の後援について報告。

報告第6号 5月の行事予定について

教育総務課長：教育総務課の5月の行事予定について報告。

学校教育課長：学校教育課の5月の行事予定について報告。

スポーツ振興課長：スポーツ振興課の5月の行事予定について報告。

生涯学習課長：生涯学習課の5月の行事予定について報告。

図書館長：図書館の5月の行事予定について報告。

公民館長：公民館の5月の行事予定について報告。

文化会館長：文化会館の5月の行事予定について報告。

学校給食センター所長：給食センターの5月の行事予定について報告。

その他

さんぶの森公園管理事務所長：クロスカントリーコースが出来上がっている。ただし、出口に県の土木で付けていただいたガードパイプがある。それを外す申請をしている。それが外れたら公にしたい。ローラー滑り台を撤去し、財源が見つからなかったが、国の経済対策で要望のとりまとめがあった。財政で調整はあると思うが積極的に要望していきたい。

学校教育課指導室長：教育委員会ジャーナルについて報告。今年度の構成は、1番で児童生徒職員の様子を報告させていただく。2番で市内の学校状況。3番で教育関係という柱で考えている。

公民館長：松尾洗心館が8月に I T 保健センター1階に移る。保健福祉部や土地改良区、社会福祉協議会等が使用する。4部屋位を使い部屋の改修をして洗心館として使う。改善センターも用途を変えるので、条例の改正を予定している。

高橋委員：幼稚園バスで蓮沼幼稚園と書いているバスがある。ただの幼稚園バスにしてはどうか。SUNムシ君をつけてはどうか。塗装料等がかかると思う。保護者からの意見があった。バスに名前を書かないで共通で使えるようにしてはどうか。

学校教育課長：幼保こども園室に伝える。

高橋委員：跡地利用について、鳴浜、緑海幼稚園の跡地利用が決まったら教えていただきたい。

京相委員：11日になるとうこども園の入園式があった。その折に孫が熱を出して、さんむ医療センターに行ったが駐車場に入れない。入園式の関係で駐車場に使っていたかはわからないが、これから運動会等があるとこれから同様のことが起こってくるのではないか。幼保こども園室に投げかけるようにした方がいいのではないか。

教育部長：それについても、幼保こども園室に伝える。

6. 閉会 午後4時08分